

ふれあい、山口

2014

9

山口県広報誌



集会所へ避難する住民



市職員による防災講演



非常持出品などの説明



避難誘導

特集 1

地震・津波に備える

特集 2

やまぐち産業戦略推進計画の改定

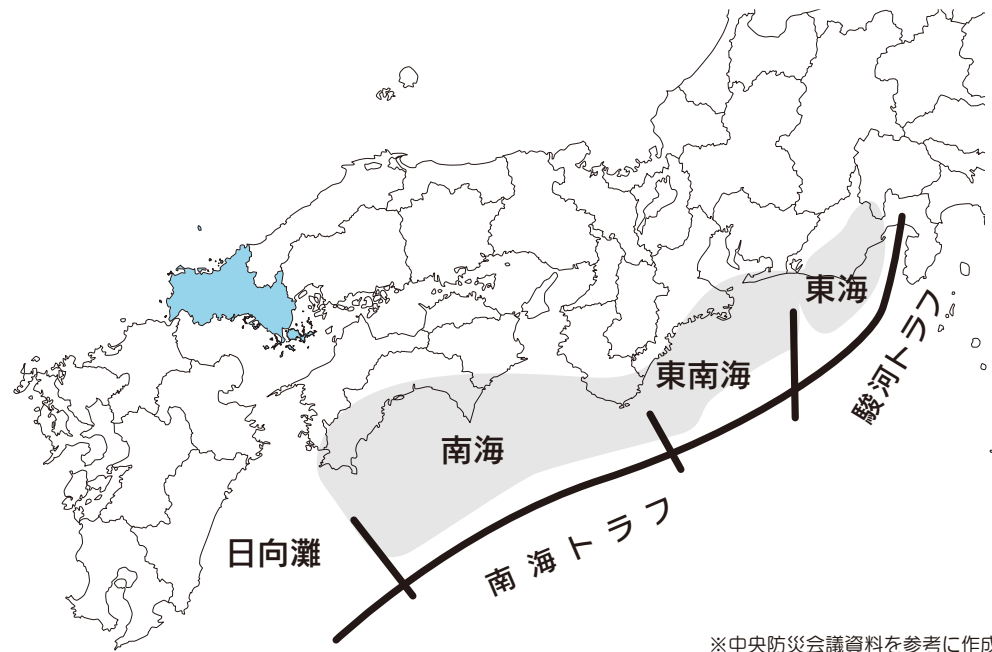
Photo: 相上・栄町自主防災会(山口市阿東)による防災避難訓練

山口県

次回発行は11月号です。

地震・津波に備える

県では、今年3月に「南海トラフ巨大地震の被害想定調査結果」を公表し、6月には「南海トラフ地震防災対策推進計画」を策定しました。今回の特集では、南海トラフ巨大地震の被害想定や地震・津波に備えるための取組などを紹介します。



※中央防災会議資料を参考に作成

南海トラフとは、静岡県駿河湾から九州東方沖までの約700キロメートルにわたって続く、深い溝状の地形のことです。このトラフを震源とする地震は、震源の位置により東海地震、東南海地震、南海地震と呼ばれています。南海トラフ巨大地震は、南海トラフを震源に、科学的に想定し得る最大規模の地震として、マグニチュード9クラスの地震が想定されています。

南海トラフ巨大地震の被害想定調査結果の公表

内閣府が平成24年8月に公表した南海トラフ巨大地震の被害想定手法等をもとに、山口県の地形データなどを加味して本県の被害想定を行い、今年3月に調査結果を公表しました。

この調査結果では、想定される被害の概要のほか、防災・減災対策による被害軽減効果についても公表しています。

※市町別の被害想定結果や津波浸水想定図(瀬戸内海沿岸)については、県ホームページで確認できます。

(左表参照)

山口県地震津波防災対策検討委員会

検索

県内被害想定概要 (科学的に想定し得る最大規模の地震・津波による被害を想定)

最大震度【柳井市】	6強
最高津波水位(満潮位)【下関市、柳井市、平生町】	3.8m
最短津波到達時間(最高津波水位)【光市】	116分
死者数 ※1	614人
負傷者数 ※2	1,477人
全壊・焼失棟数 ※3	5,926棟
断水人口(発生直後)	210,612人
停電軒数(発生直後)	14,432軒
避難者数(発生1日後)	167,643人

※1 津波による死者582人、建物倒壊による死者28人、土砂災害による死者4人
 ※2 津波による負傷者118人、建物倒壊による負傷者1,353人、土砂災害による負傷者6人
 ※3 津波による全壊3,454棟、液状化による全壊1,771棟、揺れによる全壊609棟など
 市町別の想定状況など、詳しくは県防災危機管理課または市町の防災担当課へお問い合わせください。

防災・減災対策による被害軽減効果

津波・建物倒壊による死者は、防災・減災対策で0人にすることができます。

地震発生後、全員がすぐに避難を開始した場合	582人→0人
建物の耐震化率および家具などの転倒・落下防止対策実施率が100パーセントに向上した場合	28人→0人

さあ実践！家庭でできる対策

家庭でできる防災・減災対策がいざというときに力を発揮します。被害を最小限にするために、できることから実践しましょう。

津波からの避難

強い揺れや、弱くても長い時間ゆつくりとした揺れを感じた場合は、直ちに海岸から離れ、高台などへ避難しましょう。また、あらかじめ家族で「どこに逃げるかを決めておく」や、素早い避難を心掛けましょう。

非常持出品・備蓄品の準備

○非常持出品

素早く避難するために、持ち出しやすい場所に置いておくまじゅう。

「非常持出品の例」

- ・飲料水
- ・非常食(乾パンや缶詰など)
- ・懐中電灯、携帯ラジオ
- ・電池、充電器
- ・ヘルメット、軍手、下着類
- ・粉ミルク、常用薬 など

○備蓄品

被災後、救援活動が受けられるまでの間に必要な水や食料などの備蓄品を1週間分用意しておきましょう。

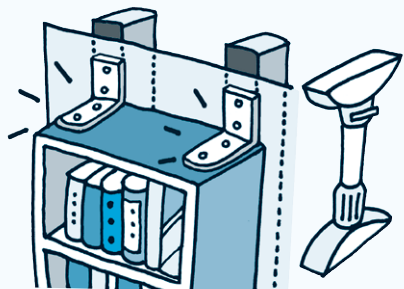
「備蓄品の例」

- ・飲料水(1人1日3リットル)
- ・非常食(乾パンや缶詰など)
- ・生活用水(風呂など)にためておく など

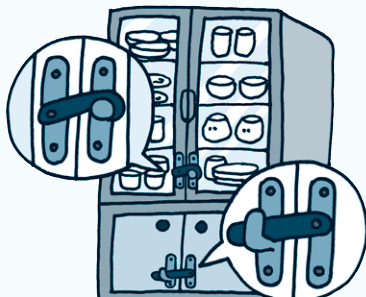
家具の転倒防止対策など

家具の転倒や落下などにより、けがをしたり、避難の妨げにならないよう、転倒防止対策などをしていきましょう。

家具は、柱や壁等に金具などで固定する。



食器棚などの扉に、開き防止器具などを取り付ける。



寝室には背の高い家具を置かない。出入り口付近に家具を置かない。



ガラス製品(窓、家具)に飛散防止フィルムを貼る。



住宅の耐震化

建物の倒壊を防ぐため、住宅の耐震化を進めましょう。

県では、市町と協力して、現在の建築基準法の耐震基準を満たしていない住宅の耐震診断や耐震改修の費用の補助などを行っています。

- ◆対象 昭和56年5月以前に着工された一戸建て木造住宅
- ◆補助率、補助金限度額など

耐震診断

耐震診断員の無料派遣制度を実施(山口市は診断費用に対する補助制度を実施)

耐震改修

改修費用の3分の2
一戸当たり30万~60万円

※補助に関する要件は、市町により異なります。詳しくは、お住まいの市町担当課へお問い合わせください。



耐震改修中の住宅

特集2

やまぐち産業戦略推進計画の改定

産業戦略の指針として、昨年策定した「やまぐち産業戦略推進計画」。

県では、計画の着実な推進に加え、より幅広い視点や新たな視点からの産業戦略を構築・実行するため、「進化する計画」として今年7月に改定し、公表しました。

スタートアッププラン

7つの戦略
(うち重点戦略5)
18のプロジェクト

充実・強化

第一次改定版

8つの戦略
(うち重点戦略5)
22のプロジェクト

戦略：新設1

プロジェクト：新設5(統合▲1)、拡充7

※「やまぐち産業戦略推進計画」では、計画期間中(平成28年度まで)に最優先で取り組むテーマを「戦略」とし、戦略ごとに具体的な「プロジェクト」を掲げています。

<戦略ごとの主な改定のポイント>

重点戦略 国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」

瀬戸内産業の再生を計画的に進めます。

新設 「産業インフラの長寿命化」プロジェクト

・持続的、継続的な産業活動に向けて、道路や港湾、工業用水の戦略的な維持管理や更新を進めるなど、長寿命化対策を推進します。

重点戦略 全国をリードする「医療関連産業育成・集積戦略」

重点戦略 次代を担う「水素等環境関連産業育成・集積戦略」

成長産業(医療関連・水素等環境関連)の育成・集積を加速します。

拡充 「医療関連産業クラスターの形成」プロジェクト 「環境・エネルギー産業クラスターの形成」プロジェクト

・企業、大学、行政による産学公連携や、企業間連携による活発な研究開発や事業化の実現など、全県的な推進体制の下で、関連産業の育成・集積を加速します。

拡充 「再生可能エネルギーの導入促進」プロジェクト

・太陽光、太陽熱、森林バイオマスなど、再生可能エネルギーの導入促進による産業振興を図ります。

重点戦略 おいでませ!「宿泊者数500万人戦略」

明治維新150年(平成30年)に向けて観光力を強化します。

拡充 「明治維新150年に向けた観光需要の拡大」プロジェクト

・「明治維新」をテーマに、山口県の有する多彩な魅力を生かしたキャンペーンを展開します。

新設 「クルーズ船の誘致推進」プロジェクト

・地域経済へ波及効果の高いクルーズ船の誘致を積極的に進めます。

重点戦略 地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」

中山間地域を支える農林水産業の振興を図ります。

新設 「6次産業化・農商工連携の推進」プロジェクト

・6次産業化と農商工連携に取り組む事業者を総合的に支援します。

新設 「水産業振興基盤の強化・充実」プロジェクト

・下関漁港の高度衛生管理型荷さばき所など、水産業振興拠点を整備します。

戦略 未来を担う「産業を支える人づくり戦略」

産業を支える人づくりを強化します。

新設 「産業を支える女性の活躍促進」プロジェクト

・女性の力を、産業面において最大限に活かす環境づくりに取り組みます。

※「技術力のある「中堅・中小企業成長戦略」と「新たな地産地消開拓戦略」については、今回改定はありません。

【お問い合わせ先】 県産業戦略部 ☎083(933)2470

詳しくは、やまぐち産業戦略

検索



防災講習会の様子

- 防災意識の向上に向けた普及啓発活動
 - 地域の危険箇所の把握
 - 防災訓練の実施
- 【災害時の活動】
- 初期消火
 - 救出・救護活動の実施
 - 避難誘導
 - 避難所運営への協力

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、災害による被害を予防し、軽減する活動を行います。

自主防災組織の活動

災害が発生したときには、地域住民が互いに協力して防災活動を行うことが重要です。日頃から、住民同士のネットワークを構築しておきましょう。

お知らせ

○自主防災アドバイザーを利用しませんか

自主防災活動を支援するため、自主防災組織などへ出向いて指導・助言を行う自主防災アドバイザーを派遣しています。

※詳しくは、各市町の防災担当課にお問い合わせください。

○消防団に入りませんか

消防団は、県内の全市町に設置され、火災や災害発生時に地域防災の要として活躍しています。

皆さんも地域防災力の充実強化のため、消防団に入団し、地域に貢献してみませんか。

※詳しくは、各市町の消防団担当課にお問い合わせください。



県の主な取組

県では、県民の暮らしや財産を守るため、国・市町や関係機関などと連携して防災・減災対策に取り組んでいます。

・津波ハザードマップを作成する市町に対し、避難所設置の目安となる水位などの情報を提供しています。

・市町をはじめ、中国地方・九州地方の県などと、大規模災害の発生時に人的・物的支援を行うう応援協定を締結しています。

・大規模災害の発生に備え、小中高校生が避難訓練や避難所生活体験する大規模災害対応訓練などを実施しています。



津波を想定した避難訓練

・地域や関係機関などとの連携を強化するため、大規模災害を想定した総合防災訓練を実施しています。

・自主防災組織の活動を促進するため、自主防災アドバイザーの養成を行っています。

・学校や警察署などの耐震化を進めています。また、民間建築物の耐震化を促進するため、耐震診断や改修に対する補助などを実施しています。

・地震災害の発生に備え、緊急輸送道路にある橋りよの耐震補強を行っています。

・災害発生時に海上からの緊急物資の受け入れなどを円滑に行うため、その拠点となる岸壁の改良を行っています。

・高潮や津波に対する防護機能を併せ持つ、護岸や堤防などの施設を整備しています。



徳山下松港の護岸整備

台風に備える

9月は日本に近づくと台風が多く発生する季節です。台風被害に遭わないために、次のことに気を付けましょう。

- ・家の周りの危険な場所や避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。
- ・テレビやラジオ等の最新の気象情報に注意しましょう。
- ・台風が接近する前に、家の周りを点検し、飛ばされそうなものは、室内に取り込むか固定しましょう。
- ・台風が接近したら、外出を控えましょう。
- ・危険を感じたときは、自分から早めに避難しましょう。



お問い合わせ先

県防災危機管理課
☎083(933)2367

県からのお知らせや募集、催しなどの情報をお届けします。

いんふお山口

Information YAMAGUCHI

※はお問い合わせ先、はお申し込み先を表しています。
※催しの日時や会場などは変更される場合があります。
※詳細な情報までは記載できませんので、詳しくはお問い合わせください。
※市町によって配布日が異なるため、一部既に終わった催しなどがある場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

小児救急医療電話相談の受付時間を10月1日から延長します

現在、23時まで開設している小児救急医療電話相談の受付時間を延長します。看護師や小児科医が症状に応じた助言を行いますので、子どもの急な病気の時などにご相談ください。

- ◆小児救急医療電話相談
☎ #8000 (短縮ダイヤル)
または ☎083 (921) 2755
- ◆受付日時
現在: 毎日 19時～23時
10月1日から: 毎日 19時～翌日8時

 県地域医療推進室 ☎083 (933) 2961

「休日・平日夜間がん検診」を実施しています

仕事の都合などで、平日の昼間にがん検診を受診することができない方のために、9月から11月まで、県内の委託医療機関で、休日や平日の夜間にごがん検診を実施します。

- ◆対象となる検診
・乳がん、子宮がんの一次検診
・大腸がん検診の精密検査
(一次検診で精密検査が必要とされた方)

◆費用
通常の検診と同様に自己負担金が必要です。(各市町で、一定年齢の方を対象に配布している「無料クーポン券」を活用される場合は、自己負担金は不要です。)
※対象者や申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

 県地域医療推進室 ☎083 (933) 2961
各市町の担当課

「労働ほっとライン」をご利用ください

職場での解雇や配置転換、残業代の支払い等の労働条件や、セクハラ、パワハラ等の人間関係などの各種労働問題に、専門家である社会保険労務士が電話でお応えします。

- ◆労働ほっとライン
☎083 (933) 3232
- ◆受付日時
月～金曜日 9時～18時
(祝日・年末年始を除く)

 県労働政策課 ☎083 (933) 3210

警察の相談ダイヤル「#9110」をご利用ください

子どもの非行、家庭内や恋人間の暴力、ストーカー被害など、一人で悩まずご相談ください。

- ◆警察安全相談専用電話 ※24時間対応
☎ #9110 (短縮ダイヤル)
または ☎083 (923) 9110

 県警察本部警察県民課
☎083 (933) 0110

児童扶養手当、特別児童扶養手当をご利用ください

- ◆児童扶養手当
離婚や未婚等により、ひとり親で児童を養育等している父もしくは母、または代わりに養育している方などに支給
- ◆特別児童扶養手当
身体または精神に障害があり、日常生活に著しい制限を受けている児童を養育している方などに支給
※手当の支給については、所得制限など

の支給要件があります。詳しくはお問い合わせください。

 県子ども未来課 ☎083 (933) 2751
 各市町の担当課

募集

県立農業大学の学生を募集

平成27年4月に入学する学生を募集します。

- ◆定員
園芸学科(25人)、畜産学科(15人)
- ◆修業年限 2年
- ◆出願期間
10月23日(金)～11月13日(金)(必着)
- ◆試験日 12月3日(日)
※受験資格など、詳しくはお問い合わせください。

 県立農業大学校 ☎0835 (38) 0510

青年海外協力隊・シニア海外ボランティアを募集

- ◆応募資格(日本国籍を持つ方)
青年: 満20歳から満39歳
シニア: 満40歳から満69歳
※年齢は平成26年11月4日現在
- ◆派遣期間 原則2年間
- ◆募集期間 10月1日(金)～11月4日(日)
- ◆募集説明会日程・会場
◇10月6日(日) 青年・シニア 18時30分～
岩国市役所 51、52会議室(岩国市)
◇10月7日(日) 青年・シニア 18時30分～
海峡メッセ下関 805会議室(下関市)
◇10月19日(日)
シニア10時30分～ 青年14時～
山口県総合保健会館 第2研修室(山口市)
 県国際課 ☎083 (933) 2347

広告

催し

イベント	日時・会場	内容	お問い合わせ先
やまぐち住宅フェア	10月4日(土)、5日(日) 10時～16時 海峡メッセ下関(下関市)	住宅関連企業などによる展示、親子木工教室、耐震・リフォームなど住まいの相談会 など	県住宅課 ☎083 (933) 3883
やまぐち総合スポーツ大会	10月18日(土) 10時～16時 山口きらら博記念公園水泳プール(山口市)	水泳教室、水球エキシビジョンマッチ など	県スポーツ推進課 ☎083 (933) 2435
	10月26日(日) 9時～21時 維新百年記念公園(山口市) など	各種スポーツ教室、サッカーJFL公式戦(レノファ山口FC対ヴェルスバ大分)、障害者総合球技大会 など	
やまぐちものづくり&ビジネスフェア2014	11月3日(日)、4日(月) 10時～16時 維新百年記念公園スポーツ文化センター(山口市)	県内企業が開発した製品などの展示、講演会、ものづくり実演・体験教室 など	県商政課 ☎083 (933) 3110

県立施設ガイド

※◎は18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方などは無料です。

展覧会	施設	期間	料金・お問い合わせ先
上方の浮世絵 —大坂・京都の粋と技— 柳斎重春「四代目村中歌右衛門の越後獅子」 中判錦絵7枚組の内1枚 天保9年(1838) 山村流六世宗家 山村若氏蔵	 県立萩美術館・浦上記念館(萩市)	9月9日(日)～10月13日(日)	観一般 1,000円(800円)、 70歳以上・学生800円(600円)◎ ※()内は前売りおよび20名以上の団体料金です。 休 9月29日(日)、10月6日(日) 観 ☎0838 (24) 2400

クイズ

発見やまぐち

プレゼント

今回の特集1で紹介した、「南海トラフ巨大地震の被害想定調査結果」による県内最大震度は、次の3つのうちどれでしょう。

- ㊦ 6強
- ㊩ 5強
- ㊲ 4強

正解者の中から抽選でやまぐちブランド「長州黒かしわ」セットを5人の方、「上方の浮世絵—大坂・京都の粋と技—」の招待券をペアで10組の方にプレゼントします。
応募方法: クイズの答え、いずれか希望の商品名、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、はがき、ファクスまたはEメールでご応募ください。なお、応募していただいた個人情報は、商品の発送とアンケートの集計以外には使用しません。

送り先: 〒753-8501 (住所不要)
山口県広報広聴課
「発見やまぐち9月号」係
FAX 083 (933) 2598
メール kohoshi@pref.yamaguchi.lg.jp

締め切り: 9月29日(月)(必着)
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
8月号・9月号の正解は11月号に掲載します。

おいしい「やまぐちブランド」を食べちゃろう! 長州黒かしわ

「長州黒かしわ」は、国指定天然記念物「黒柏鶏(くろかしわ)」をベースに県が開発したオリジナル地鶏です。
地鶏ならではの適度な歯応えを残しながらもジューシーで、かめばかむほど味が出てきます。うまみ成分を多く含み、上品な味が特徴です。



県政だより

やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンターを設置

県産農林水産物を活かした、魅力ある新商品の開発や、販路開拓などを推進するため「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」を山口市にある(公財)やまぐち農林振興公社に開設しました。

センターでは、農林漁業者や中小企業者からの相談や、商談会・フェア等への出展、専門家の助言等による商品力の向上などにより、地域資源を活かした魅力ある商品開発の加速化を図ります。



 やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター ☎083(924)8100

- 本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。県政へのご意見、ご要望などもお待ちしております。
- ご意見などをお寄せいただいた方の個人情報は、山口県が責任を持って管理します。

県ホームページ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>
県携帯サイト <http://mobile.pref.yamaguchi.lg.jp/>

県人口・世帯数 (平成26年7月1日現在)
人口/1,411,713人 男/666,613人・女/745,100人 世帯数/603,450人



県政ワンショット

7月15日
16日

全国知事会議に出席



全国知事会議(佐賀県で開催)に就任後初めて出席した村岡知事は、新知事として紹介され、山口県を活力みなぎる県にしていこうための意気込みを語りました。

8月1日

中山間地域の活動を支援



若者等の定住促進に向けた地域の魅力発見や情報発信の取組を支援するため、県庁中山間応援隊を美祢市美東町赤郷地域に派遣。応援隊長の村岡知事も参加しました。

8月2日

どこでもトーク(地域別懇談会)を開催



村岡知事が県民の皆さんから直接ご意見をお聞きする「どこでもトーク」。その地域別懇談会の第1回目を宇部市で開催しました。

山口ふるさと大使※が知事を訪問

6月13日



ギタリストの^{たがわ}田川ヒロアキさんは、活動状況を報告後、ギターのネックを逆から持つ独特の演奏スタイルで曲を披露されました。

7月11日



俳優の^{おかもとの}岡本信人さんは、萩で過ごした少年時代のことやテレビ番組で山口県のPRを行っていることなどを話されました。

7月28日



タレントの^{にしむらとみ}西村知美さんは、女優の^{ふじたみほ}藤田三保子さん、脚本・演出の^{しなかわよしまさ}品川能正さんと訪問され、宇部市民参加音楽劇への意気込みを語られました。

7月30日



俳優の^{かわの たろう}川野太郎さんは、ふるさと山口に対する思いや、参加される予定の下関海響マラソンのことなどを話されました。

※県外に在住または県外に主たる活動の場を有する山口県にゆかりのある方で、県の魅力をPRしていただける著名な方を県が委嘱